

# ご入院のしおり

胆のう摘出術を受けられる患者様へ

主治医は

です

看護師は

です

患者様氏名：

様

説明日 年 月 日

経過	入院日（手術前日の場合あり）	手術前日	手術当日・術前	手術当日・術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目以降・退院日
月日	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )
食事について	・制限はありません。	・夕食までのお食事となります。	・0時から絶食となります。脱水予防の為、水、お茶、スポーツドリンクをお飲み下さい。飲んだ量を看護師へお知らせ下さい。	・絶飲食となりますが、医師の指示により、術後4時間後から飲水可能となる場合があります。	・朝から食事再開になります。		
安静度について	・病院内の移動は自由です。買い物、散歩、面会等で病棟を離れるときはスタッフへお声掛け下さい。		・起床後の洗面、歯磨き、お手洗いは通常通りです。手術時間前にはお手洗いを済ませて下さい。	・ベッド上での安静になります。	・午前中にお体を拭き、着替えを行います。痛みなどが無ければ車椅子移動、歩く練習をします。	病院内の移動は自由です。不安な場合は看護師をお呼び下さい。	
薬について	・現在、飲んでいるお薬がありましたら看護師、薬剤師にお知らせ下さい。また、お薬手帳がありましたら一緒に確認します。	・眠る前に、下剤を飲みます。希望があれば睡眠薬をご用意します。 ・内服を自己管理している方は眠前に回収させていただきます。	・お薬は一旦中止となります。	・手術後は点滴を行います。痛みや吐き気などの症状がある場合は、ナースコールでお知らせ下さい。	・午前中で点滴は終わります。今まで飲んでいたお薬も再開します。		・退院時にお薬が処方される場合があります。
検査について	・医師の指示により採血や各種検査を行う場合があります。予め看護師よりお知らせします。			・お部屋で採血をします。	・朝(5時～6時頃)に採血、また日中にレントゲン撮影があります。		・朝(5～6時頃)に採血があります。また日中にレントゲン撮影があります。
処置について		・爪を切り、マニキュアを落とします。シャワー浴をして、へその掃除をします。				・手術をした部分の抜糸、消毒は不要です。	・消毒は不要です。そのままシャワーもできますが強くこすったり、傷を付けないように注意して下さい。
その他	・病棟のご案内及び身長、体重測定を行います。 ・入院するまでの経過や病歴、自宅での生活についてお話をうかがいます。 ・医師より手術についての説明があります。 ・手術前・後の経過や手術に必要な物品について看護師から説明します。 ・麻酔科の医師と手術室で担当する看護師の訪問があります。「麻酔科質問票」を予めお渡しますので、ご記入をお願いします。 ・病院内、病院敷地内は全て禁煙ですので、ご協力お願い致します。 ・弾性ストッキング、T字帯を看護師がお渡しします。		・上の肌着を脱ぎ、弾性ストッキングを着用します。看護師がお手伝いします。 ・眼鏡(コンタクトレンズ含む)、入れ歯、時計、指輪等の装身具を外します。 ・( )時に手術室入室します。	・術後は、リカバリールームで一日過ごしていただきます。 ・体温、脈拍、血圧など随時測定し、酸素マスクは状態に応じて、1～2時間装着します。 ・トイレに行きたくなった場合は看護師にお知らせ下さい。	・気管内に管を入れた影響でのが痛いことがあります。徐々に改善されます。症状が収まらない場合は看護師にお伝え下さい。	・お腹や傷の痛み、違和感、出血、また熱が出たり、寒気がする等、体調の異常を感じられた場合は看護師にお伝え下さい。 ・栄養相談の日時を調整します。希望の日時を看護師に伝えて下さい。	《退院後の注意点とお願い》 手術後は、胆のうを取り除いた為、胆汁を蓄えておく事ができない状態です。胆汁は脂肪を乳化し、消化を助ける働きをします。脂肪の多い物や刺激物、アルコールを一度に摂ると、腹痛や下痢などの症状が出る場合があります。 手術の傷の異常(赤み、腫れ、出血)や腹痛、発熱などの症状が出た時は病院へ連絡の上、外来に受診して下さい。(夜間は救命センターに受診して下さい。)

\* 概ね上記の日程に沿っての入院生活となる予定です。現時点で予想されるものですので、予定が変更になる可能性があります。

\* 手術を迎えるに当たり、不安や疑問がございましたら気兼ねなくおたずね下さい。病名は、検査進行上変わり得る事があります。

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 4北病棟 一般外科 2020年7月版

4N-胆のう摘出術 K-4